

性質別 (一般会計予算)

支出(歳出)を別の視点から見ることができます。目的別の経費を性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。

那覇市の一般会計予算 (性質別)

金額 (単位: 千円)

● 義務的経費

人件費	18,572,401
扶助費	47,140,220
公債費	14,298,106
小計	80,010,727

義務的経費

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。

- ・人件費…職員の給料などにかかる費用です。
- ・扶助費…生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。
- ・公債費…過去に借り入れた借金(収入の部の「市債」)の返済にかかる費用です。

● 消費的経費

物件費	13,398,465
維持補修費	455,639
補助費等	8,986,745
小計	22,840,849

消費的経費

後年度に形を残さない性質の費用です。

- ・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。
- ・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。
- ・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。

● 投資的経費

普通建設事業費	23,594,763
単独	2,406,001
補助	21,188,762
災害復旧事業費	4
単独	0
補助	4
小計	23,594,767

投資的経費

幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、市営住宅の建て替え、道路や公園の整備・建設など、都市基盤の整備にかかる費用です。

● その他の経費

積立金	1,433,442
投資及び出資金	62,996
貸付金	740,001
繰出金	11,703,218
予備費	70,000
小計	14,009,657

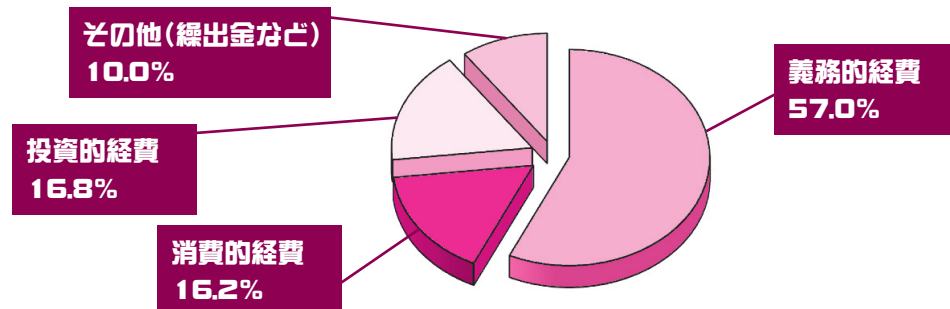
その他の経費

その他の経費には、上記以外の経費を含めています。

- ・積立金は、各種基金への積立です。
- ・繰出金は、特別会計予算などへの繰出です。
- ・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために予定しています。

合 計 140,456,000

割合は
こうなっ
ていま
す



¹
20000 に置き換えて…

那覇市の支出(歳出)予算を家計簿に例えてみました！

支出についても、那覇市の一般会計予算の支出(歳出)の性質別を「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな支出があり、普通の家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてつくってみました。)

なは家の家計簿	
(1年間の支出状況)	なは家の家計簿(支出)の特徴
支出項目	金額(万円)
食費(人件費)	93
医療費(扶助費)	236
光熱水費・通信費、 その他の支出(物件費など)	126
家の増改築(投資的経費)	118
子どもへの仕送り (特別会計などへの繰出金)	58
ローン返済(公債費)	71
計	702

どうしても支払わねばならない食費、医療費及びローン返済の占める割合が、全支出の57%もあります。
子どもへの仕送りもあるなかで、古くなった家の修繕も行わなければなりません。子ども達には、独立してがんばってもらいたいと考えていますが、なかなかうまくいきません。来年以降も、医療費と家の修繕は増えていくものと思われます。食費については、これからも切りつめていく努力をしなければなりません。

収入(歳入)の家計簿は、p6に記載しています。

基礎知識編

収入編

支出編

予算の考え方

主要事業

資料編

おしえて！



前年度と比べてどんな経費が増えて、
どんな経費が減っているの？ おしえて！



全体的に経費が増えています。
特に扶助費、普通建設事業費、繰出し金が増えています。

1. 「義務的経費」は、約20億3千万円の増となっています。内訳としては、人件費が約7億2千万円の減となっている一方で、扶助費が生活保護費や障害福祉サービス等給付費などの増により、約25億3千万円、公債費が約2億2千万円の増となっています。
2. 「消費的経費」は、臨時福祉給付金事業などの増により約8億5千万円の増となっています。
3. 「投資的経費」は、津波避難ビル建設事業、大名小学校校舎建設事業などにより、約78億2千万円の増となっています。
4. 「その他の経費」は、国民健康保険事業特別会計などへの繰出し金により約16億5千万円の増となっています。

扶助費が多いんです
ニャ～

